

令和4年度 船形の郷 福祉サービス評価(自己評価)是正・改善結果

		自己評価			改善・是正計画	いつまでに	改善結果
	項 目	総合評価	改善項目	課 題			
1	理念・基本方針 (1)	A-1 B- C- 項目数 1項目					
2	経営状況の把握 (2～3)	A-2 B- C- 項目数 2項目					
3	事業計画の策定 (4～7)	A-4 B- C- 項目数 4項目	設問7	【とがくら:B】 コロナ感染症対策により、面会や集会が制限され、事業計画等については、ご家族への説明が不十分です。	【とがくら】 船形の郷や園の広報誌、及びブログへ園行事の様子を掲載するとともに、各係担当者から3か月に1回利用者のご家族へ、利用者の写真と園での生活を記載した手紙を送付します。	12月中	【とがくら】 面会や集会が制限されて実際に会う機会が減少している分、広報誌やブログ、手紙で利用者の園での生活状況を把握できるようになりました。また、12月からはLINEによる面会も開始されています。
			設問7	【なでくら:B】 利用者等に対し、事業計画の周知や理解は徹底されていません。	【なでくら】 利用者に対しては、事業計画に直接関わっていることの説明を行います。		【なでくら】 利用者に直接関係する事業計画等の箇所分かりやすく説明を行いました。
4	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組 (8～9)	A-2 B- C- 項目数 2項目					
5	施設長の責任とリーダーシップ (10～13)	A-4 B- C- 項目数 4項目					
6	福祉人材の確保・育成 (14～20)	A-5 B-2 C- 項目数 7項目	設問14～17	【総務・地域:B】 法人として人材育成方針はあるが、具体的な人材確保・育成・定着やキャリアパス等の仕組みが課題と思われます。また、ワーク・ライフ・バランスについても各種規則、規程はあるが運用が不十分と思われます。	【総務・地域】 法人の人材育成制度検討委員会に於いて検討するよう要望します。	12月中	【総務・地域】 法人の人材育成制度検討委員会に於いて、検討するまでに至りませんでした。
			設問14	【とがくら:B】 利用者への喀痰吸引をを行うことができる人材(喀痰吸引研修修了者)が不足しております。	【とがくら】 令和4年度事業計画に基づき、喀痰吸引研修を受講し、有資格者の増員に努めます。		【とがくら】 喀痰吸引研修の基本研修、実地研修を各2名が受講し、令和4年度中に資格取得済みです。
			設問14	【かまくら:B】 法人として採用等は実施していますが、人材確保(有資格者等)については不十分です。	【かまくら】 計画に基づいた人材確保がされるように法人へ要望していきます。		【かまくら】 現状では人員不足の状態が続いている為、適正な人材確保がされるように、引き続き法人へ要望していきます。
			設問15	【かまくら:B】 法人として人材基準や総合的な仕組み等について職員への周知が不十分です。	【かまくら】 職員に対して人事異動方針や人材育成基本方針等を会議や文章にて再度周知を図ります。		【かまくら】 感染予防の研修等は行わず、文章配布と口頭伝達により職員への周知を図りました。
			設問14	【なでくら:B】 4月1日から休職者がおり、職員の補充が必要です。	【なでくら】 臨時職員等の募集を実施します。		【なでくら】 11月より職員(派遣)が補充されました。
			設問14	【おおくら:B】 適切な人員配置ができておらず、職員募集しているものの人材確保ができていません。	【おおくら】 人材確保を所に要望していきます。		【おおくら】 人員不足の状態が続いており、充足されるように要望しているところです。一部、派遣職員が充足されましたが、完全に充足されるまでに至りませんでした。
			設問15	【おおくら:B】 人事基準(昇進・昇格等)や将来を見据えた総合的な仕組みまでには、至っていません。	【おおくら】 明確な基準を要望していきます。		【おおくら】 本年度は人事異動方針が示されましたが、人事基準(昇進・昇格等)や将来を見据えた総合的な仕組みまでには、至りませんでした。
7	運営の透明性の確保 (21～22)	A-2 B- C- 項目数 2項目					
8	地域との交流、地域貢献 (23～27)	A-5 B- C- 項目数 5項目	設問23～25	【とがくら:B】 今年度もコロナ禍による感染対策が継続され、地域・ボランティアとの関わりができていません。	【とがくら】 コロナの感染状況をみながら、地域移行推進部と連携を取り、感染対策に留意しながら検討します。	12月中	【とがくら】 今年度は各園でクラスターが発生したため、改善に至っていません。
9	利用者本位の福祉サービス (28～39)	A-12 B- C- 項目数 12項目					
10	福祉サービスの質の確保 (40～45)	A-6 B- C- 項目数 6項目					
11	利用者の尊重と権利擁護 (46～47)	A-2 B- C- 項目数 2項目					
12	生活支援 (48～60)	A-13 B- C- 項目数 13項目	設問58	【とがくら:B】 コロナ禍により、ご家族との外出・外泊及び体験学習・社会体験学習がほとんど実施できない状況でした。	【とがくら】 利用者の声等から利用者の意向を汲み取り、アセスメントを実施した上で感染対策を十分とり、社会参加につながる機会を確保します。	12月中	【とがくら】 アセスメントを実施し担当者会議を開催したうえで、利用者1名をなでくらセンターの活動(作業)参加につなげることが出来ました。園内行事は感染状況をみながら、少人数で実施するなど職員が工夫し実施しています。
13	発達支援 (61)	非該当 項目数 1項目					
14	就労支援 (62～64)	非該当(まつくらセンター以外) A-3 B- C- 項目数 3項目					